

研究名：アベマシクリブ服用開始後のテレフォンプォローアップの有用性

1. 研究の対象

2019年11月から2023年12月に東北労災病院でアベマシクリブを投薬した患者

2. 目的

東北労災病院では、CDK4/6阻害剤であるアベマシクリブを再発乳がんあるいは乳がんの術後補助療法として用いられている。本剤の有害事象として下痢が挙げられており、自宅での下痢対策がうまくコントロールできず、内服コンプライアンスの低下につながる可能性が示唆され治療効果にも影響が出る可能性がある。当院では2019年11月よりアベマシクリブの使用開始と同時に保険薬局と協働して服用開始後に電話による体調確認（テレフォンプォローアップ）を行い、保険薬局の薬剤師が得た副作用発現状況や指導内容等は薬剤情報提供書にまとめられ、病院に送信され、主治医へフィードバックすることで病薬連携を図っている。本研究では、保険薬局がアベマシクリブ服用患者へのテレフォンプォローアップを行うことの有用性について調査する。

3. 方法

診療録から個人を特定できない形で、年齢・性別などの基本情報、アベマシクリブの内服状況やテレフォンプォローアップから得られた副作用の発現状況や支持療法薬の使用状況について後方視的に調査する。

研究期間：倫理委員会承認後～2025年3月31日

4. データの取り扱いと個人への利益・不利益について

使用する情報は個人を特定できない形で抽出され、対象者の個人情報が増えることはありません。研究結果は、個人が特定できない形式を用いて論文等で発表されます。また、本研究は介入を伴わない後ろ向き観察研究のため、研究の対象となる個人の負担や利益・不利益は存在しません。

5. 問い合わせ先

本研究の対象となる方で診療情報の使用を希望されない場合、またはご不明な点がある場合は、下記までご連絡ください。診療情報の使用を拒否される場合も、患者に不利益が生じることはありません。

東北労災病院

所在地：981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4丁目3-21

電話：022-275-1111(代表)

研究代表者：薬剤部 熊谷 史由(くまがい ふみよし)